

共創社会実現へ始動

「地域中核・特色ある
研究大学強化促進事業
(J-PEAKS)」で
は、日本の研究力発展を
けん引し、新たな価値創
造を促進する地域の中核

＝下＝

世界にはばたけ

弘前大学J-PEAKS始動



大学に、国が最長10年
間、最大約100億円規
模の支援を行う。

25校のうちの1校とし
て採択を受けた弘前大学
は1日、Well-being(ウェルビー
イング)ウェルビーイン
グ心身、社会的に健や
かで幸せな状態)領域で

ウェルビーイング研究の世界一へ



“総合知”で切り開く

世界的な卓越研究大学
群を構築する中核大学と
して「グローバルウェル
ビーイング共創社会の実
現」のビジョンを掲げ、
始動した。

岩木健診の超多項目の
健康ビッグデータを核に
した研究を、さらに世界
レベルにまで押し上げよ
うと打ち出しているの
が、トップレベルの研究
大学などとの連携強化
だ。京都大や九州大とい
ったこれまでの連携に、

際卓越研究大学に国内で
唯一採択された東北大な
どが加わり、最先端のウ
ェルビーイング研究、開
発が進められる。

弘前大COI、COI
NEXTの拠点長とし
て産学官民の連携強化に
奔走した同大の村下副学
長は「世界中から研究者
が弘前に集結する。それ
により国内外のグローバ
ル企業の参画も増える」
と予測。それが地元企業
とのタイアップに結び付
き「新しいビジネスが生
まれ、地域経済を豊かに
する。短命県返上はもち
ろんのこと、地域の幸福
度を高くし、目指す共創
社会が実現できる」と話
す。

研究開発、社会実装の核となる「グローバル
Well-being総合研究棟」を背に、
「弘前から世界の健康未来を切り開く」と意
気込む村下副学長

弘前大は世界で展開す
る連携強化と並行して
「大学経営改革」に着手
する。全10学部・研究科
・研究所がウェルビーイ
ング研究に横断的に取り
組むほか、次世代研究者
育成本部を立ち上げる。
教育・研究活動の強
化、社会実装を加速させ
る拠点となるのが、本町
キャンパス内に新設した
「グローバルWell-
being総合研究棟」
だ。研究展開の中心とな
る「グローバルWell-
being総合研究
所」は、所長ヘルスケア
分野の世界的な科学者と
交渉中をトップに「グ
ローバルヘルス・予防医
学」など3部門を重点領
域とした研究基盤の形成
と、世界に貢献する研究
開発を積極的に進める。

長年、地域社会との連
携活動に注力してきた弘
前大。村下副学長は最後
に、スタートアップの創
出と成長を加速するた
め、独自の地域ファンド
を創設して支援強化に取
り組む予定であることを
明かした。

(稲葉智絵)